

よんであげたい 絵本

0さい~2さい児向け

目次

1	あいさつ	1 p
2	ことば	2-3 p
3	どうぶつ	4-5 p
4	だーいすき	6 p
5	あそび	7 p
6	せいかつ	8 p
7	たべもの	9 p
8	のりもの	10 p
9	ものがたり	11 p



このリストは、下記のように考えて、本を選んでいきます。

- このリストは、おおむね0才から2才までを対象としています。
- リストの中の対象年齢はあくまでも目安です。
- 内容はテーマごとにまとめました。
- このリストに載せた本は、市立図書館で借りられます。



リストの見方

この印の付いている本は、壊れにくい厚紙でできたボードブックです。

『本のタイトル』 → 『くまのテディちゃん』

作者、翻訳者など { グレタ・ヤヌス作
ロジャー・デュボアザン 絵
湯沢朱実訳

出版社 → こぐま社

対象年齢 → 1歳から

表紙

*対象年齢はあくまでも目安です。気にしすぎることなく選びましょう。

**赤ちゃんと一緒に
絵本を開きましょう！！**

あいさつ

「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」
赤ちゃんと一緒にごあいさつ。
あいさつは人をつなげます。

「おつきさまこんばんは」

林明子作
福音館書店
4ヶ月から



「こんにちは」

わたなべしげお文
おおともやすお絵
福音館書店
1歳から



「おはよう」

なかがわりえこ作
やまわきゆりこ絵
グランママ社
1歳から



「ばいばい」

まついのりこ作・絵
偕成社
4ヶ月から



「おやすみ」

なかがわりえこ作
やまわきゆりこ絵
グランママ社
1歳から



「こぐまちゃんおはよう」

わかやまけん作
こぐま社
1歳から



「こぐまちゃんおやすみ」

わかやまけん作
こぐま社
1歳から



- Q 1 赤ちゃんに絵本を読んであげても、まだわからないんじゃない？
- A 1 絵本は言葉かけのひとつです。生まれてから2ヶ月くらいまでは視力が十分に発達していませんから見て楽しむには早いです。でも、身近な大人が声を聞かせてあげるのはとても大切です。歌の本やリズム感のある絵本を読んでもあげると、読み手にもリラックス感が生まれますので、その声が赤ちゃんの心の栄養になるのですね。

*年齢は目安です。

ことば

「ころころ」「てんてん」「びりびり」
擬音やリズムが良い言葉は、
赤ちゃんの耳に心地よく響きます。

「赤ちゃんにおくる絵本3 ひとつ・ふたつ・みっつ」

とだこうしろう作・絵
戸田デザイン研究室
1歳から



「ごぶごぶごぼごぼ」

駒形克己作
福音館書店
4ヶ月から



「おひさまあはは」

前川かずお作・絵
こぐま社
4ヶ月から



「ころころころ」

元永定正作・絵
福音館書店
4ヶ月から



「かおかおどんなかお」

柳原良平作・絵
こぐま社
4ヶ月から



「じゃあじゃあびりびり」

まついのりこ作・絵
偕成社
4ヶ月から



「かくかくしかく」

得田之久ぶん
織茂恭子え
童心社
4ヶ月から



「てんてんてん」

わかやましずこ作
福音館書店
1歳から



「がちゃがちゃどんどん」

元永定正作
福音館書店
4ヶ月から



「びよびよびよ」

平野剛作
福音館書店
6ヶ月から



ことば

「もこもこ」「にこにこ」
繰り返しの言葉は子どもの心を
引きつけます。

『ぶるるんぶるるん』

まついのりこ作
偕成社
4ヶ月から



『もこもこもこ』

谷川俊太郎作
元永定正絵
文研出版
4ヶ月から



『まるさんかくぞう』

及川賢治作
竹内繭子作
文溪堂
4ヶ月から



『ゆめにこにこ』

柳原良平作・絵
こぐま社
4ヶ月から



『まるまる』

中辻悦子作
福音館書店
1歳から



Q 2 子守唄や童謡やわらべ歌は、子どもの心の成長に良いて聴くけど、知らない歌ばかりで歌ってあげられない。

A 2 歌えなくてもだいじょうぶですよ。絵本の歌の文字を、声に出して読むことを繰り返していると、だんだんリズムがついてきます。自己流でかまわないのです。絵本は、楽しい声を届ける道具なのですから。

★うたのえほん★

あかちゃんのうた
松谷みよ子文
いわさきちひろ絵
童心社



うたえほん
つちだよしはる絵
グランママ社



どうぶつ

「ワンワン」「ニャーニャー」
身近なものから「ゾウ」「キリン」など
いろんな動物が楽しめます。

『いぬが いっぱい』

グレース・スカール作
やぶきみちこ訳
福音館書店
1歳から



『こんにちはどうぶつたち』

とだきょうこ案
さとうあきら写真
福音館書店
4ヶ月から



『ここよここよ』

かんざわとしこ文
やぶうちまさゆき絵
福音館書店
4ヶ月から



『だからこぶたちゃん』

きたやまようこ作・絵
偕成社
1歳から



『こやぎがめえめえ』

田島征三作
福音館書店
1歳から



『どうぶつのおかあさん』

小森厚文
藪内正幸絵
福音館書店
4ヶ月から



Q 3 子どもに本を読んであげたいけど、どんな本を選べばいいかわからない。

A 3 最初の一步の絵本にはボードブックという厚紙仕立ての絵本がおすすめです。
絵ははっきり、明るく、丁寧に描かれ、暖かみのあるものを。文章はわかりやすく、言葉にリズム感があるもの。
内容はお子さんの興味にあわせて、選んでください。月齢が低くなるほど、たくさんの絵本を読んであげる必要はありません。

どうぶつ

「すきすき」 どうぶつの親子
見たことのあるもの、知っているもの。
たくさんの動物が楽しめます。

「どうぶつのこどもたち」

小森厚文
藪内正幸絵
福音館書店
4ヶ月から



「ひよこ」

中川ひろたか文
平田利之絵
金の星社
1歳から



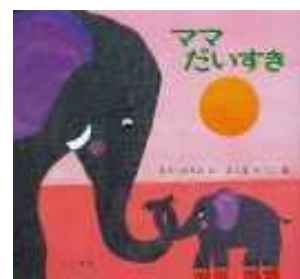
「ねこがいっぱい」

グレース・スカール作
やぶきみちこ訳
福音館書店
1歳から



「ママだいすき」

まどみちお文
ましませつこ絵
こぐま社
4ヶ月から



「ぴょーん」

まつおかたつひで作・絵
ポプラ社
1歳から



「もうおきるかな？」

まつのまさこ文
やぶうちまさゆき絵
福音館書店
6ヶ月から



Q 4 赤ちゃんってなかなか絵本に集中してくれないの。どんな時間に読んであげればいいのか？

A 4 赤ちゃんが落ち着いた気分のときに、絵本を開いて語りかけるつもりで読んであげましょう。

少し大きくなると、最後まで読まないうちにページをめくってばかりということもあります。そんな時は、最後まで読もうとがんばらず、また次の日によんであげましょう。赤ちゃんが“本の中におもしろいことがある”とわかるまでは、少々時間がかかります。「ちょっとの時間で毎日」の繰り返しが大切です。

だ〜いすき

「おんぶして」「だっこして」「くっついて」
絵本と同じように「ぎゅっ」として見て。

『おかあさんといっしょ』

藪内正幸作
福音館書店
4ヶ月から



『ぎゅっ』

ジェズ・オールバラ
作・絵
徳間書店
4ヶ月から



『おかあさんどーこ?』

わかやましずこ作
童心社
6ヶ月から



『くっついた』

三浦太郎作・絵
こぐま社
4ヶ月から



『おっぱい』

みやにしたつや作・絵
鈴木出版
4ヶ月から



『だっこして』

にしまきかやこ作
こぐま社
1歳から



Q 5 本を読んであげるといって、同じ本ばかり持ってきて困っちゃう。

A 5 子どもは知っているお話が大好きです。次がどうなるかわかっていて、そのとおりになるのが楽しいんです。読んであげる人は飽きてしまっても、赤ちゃんはその度に新しい発見をしています。

お気に入りの本を見つけられるって幸せなことなんです。次から次とたくさんの本を読んであげることも、「繰り返し」がとっても大切です。

あそび

「いないいないばあ」は赤ちゃんは大好き。
絵本のように一緒に遊んでみて。

『いいおかあ』

松谷みよ子文
瀬川康男絵
童心社
6ヶ月から



『でてこいでてこい』

はやしあきこ作
福音館書店
1歳から



『いないいないばあ』

松谷みよ子文
瀬川康男絵
童心社
4ヶ月から



『とっことっこ』

まついのりこ作
童心社
1歳から



『くつつあるけ』

林明子作
福音館書店
4ヶ月から



『ととけっこうよがあけた』

こばやしえみこ案
ましませつこ絵
こぐま社
4ヶ月から



『ごろんごろん』

まつおかたつひで作・絵
ポプラ社
4ヶ月から



『はねはねはねちゃん』

なかがわりえこ文
やまわきゆりこ絵
福音館書店
1歳から



『ちびすけどっこい』

こばやし えみこ案
ましま せつこ絵
こぐま社
4ヶ月から



『まてまてまて』

こばやしえみこ案
ましませつこ絵
こぐま社
4ヶ月から



せいかつ

「泣いたり」「笑ったり」「怒ったり」
日々の出来事のおはなしはとっても身近

『あーんあん』

せなけいこ作・絵
福音館書店
1歳から



『きゅっきゅっきゅ』

林明子作
福音館書店
4ヶ月から



『いただきますあす』

わたなべしげお文
おおともやすお絵
福音館書店
1歳から



『くまのテディちゃん』

グレタ・ヤヌス作
ロジャー・デュボアザン絵
湯沢朱実訳
こぐま社
1歳から



『いやだいやだ』

せなけいこ作・絵
福音館書店
1歳から



『じょうずじょうず』

まついのりこ作・絵
偕成社
1歳から



『おててがでたよ』

林明子作
福音館書店
4ヶ月から



『ねないこだれだ』

せなけいこ作・絵
福音館書店
1歳から



『おやすみなさい コッコさん』

片山健作・絵
福音館書店
1歳から



『ふうせんねこ』

せなけいこ作・絵
福音館書店
1歳から



たべもの

「もぐもぐ」「パクパク」
食べ物の絵本は赤ちゃんも興味津々

■
『おたんじょうび』
まっいのりこ作・絵
偕成社
4ヶ月から



『やさいだいすき』
柳原良平作・絵
こぐま社
4ヶ月から



『くだもの』
平山和子作
福音館書店
1歳から



『りんご』
松野正子文
鎌田暢子絵
童心社
1歳から



『つかんでぼっくん』
わかやましずこ作
童心社
6ヶ月から



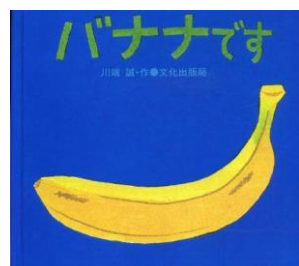
Q 6 せっかく本を買ってあげても、子どもが本を壊しちゃいそうで心配

A 6 それならボードブックがオススメです。ボードブックは厚紙（ボード）でできている本のことです。厚紙でできているので、小さなお子さんにもめくりやすく、壊れにくい作りとなっています。また、角が丸くなっていて、ケガをする危険性も低くなっています。まずは、このボードブックから始めてみてはいかがでしょうか。このリストにも「ボードブック」の表示をいれてあります。

『にんじん』
せなけいこ作・絵
福音館書店
1歳から



『バナナです』
川端誠作
文化出版局
1歳から



のりもの

「ブーブー」「がたんごとな」
身近な乗り物は赤ちゃんも大好き。

「がたんごとな がたんごとな」

安西水丸作
福音館書店
4ヶ月から



「ぶーぶーじどうしゃ」

山本忠敬作
福音館書店
4ヶ月から



「じどうしゃ」

寺島龍一画
福音館書店
4ヶ月から



「のせてのせて」

松谷みよ子文
東光寺啓絵
童心社
1歳から



「のりものいっぱい」

柳原良平作・絵
こぐま社
4ヶ月から



「バルンくん」

こもりまこと作
福音館書店
1歳から



Q 7 読んであげても興味を示さない
ときはどうしたらいいですか？

A 7 興味を示しそうな絵のページか
ら開いていいのですよ。

絵本に書いてある文字通りじゃな
くて、それが自動車の絵だったら
“ぶーぶー”、果物の絵だったら
“おいしいおいしい”と言っても
大丈夫。

赤ちゃんと言葉のやりとりからは
じめてみてください。赤ちゃんに
はこの繰り返しが大切なのです。

ものがたり

2歳近くになると、ちょっとした物語も楽しめるようになります。

「かぜのこもいうた」

くどうなおこ詩
あべ弘士絵
童話屋
1歳半から



「どーこだどこだ」

カズコ G. ストーン作
童心社
1歳から



「きいろいことり」

ディック・ブルーナ文・絵
いしいももこ訳
福音館書店
1歳から



「はらぺこあおむし」

エリック＝カール作
もりひさし訳
偕成社
1歳から



「こぐまちゃんとどうぶつえん」

わかやまけん作
こぐま社
1歳から



「ふしぎなたまご」

ディック・ブルーナ文・絵
いしいももこ訳
福音館書店
1歳から



「こねこのねる」

ディック・ブルーナ文・絵
いしいももこ訳
福音館書店
1歳から



「ちいさなさかな」

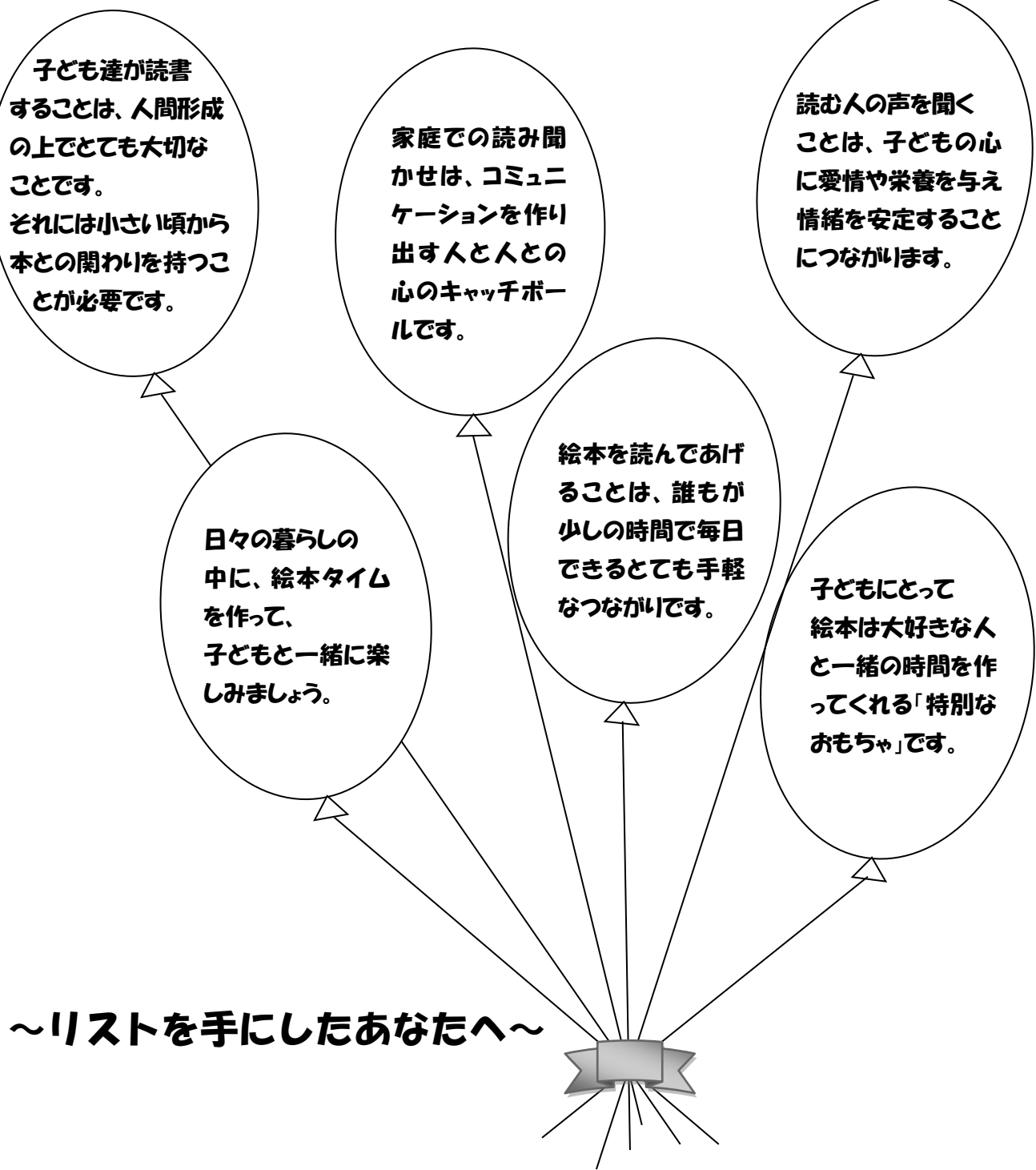
ディック・ブルーナ文・絵
いしいももこ訳
福音館書店
1歳から



Q 8 テレビやビデオで教育番組を見せているから、絵本は必要ないと思うけど。

A 8 赤ちゃんは音が出るもの、動くもの、光るものに反応しやすいのでテレビがついているとじっとみつめています。

でも、テレビから流れる一方的な言葉は、赤ちゃんの言葉に答えてはくれません。人と人の信頼関係は言葉のやりとりをすることで築かれます。心を込めて絵本を読んであげるときの肉声は、赤ちゃんへの想いが込められます。絵本を通して言葉を交わすときに伝わる想いが心の成長を促す栄養になるのです。



※このリストは、中野市子ども読書活動推進計画に基づき、中野市子ども読書活動推進連絡会議が作成しました。

発行：平成23年3月
改訂：令和2年3月